

『朝に強くなれ』

施設長 八須 信治

これこそが基本であると考えています。

今、改めて考えてみますと、「朝強いこと」が中心となって生活のあらゆる面に派生しているように感じます。この「朝に強くなれ」が結論じみた私の信念の一つとなっております。

実際、剣道や子供会活動等を通じ、多くの子供達に接する機会がありました。その中で、順調に育っている子と、そうでない子は果たしてどこが違うかと考えてみた場合、順調に育っている子供に対し、そうでない子が比較的朝に弱いようであります。

昔から「早起きは三文の徳」とも言われております。朝一番というのは、いわばその日のスタートラインです。その日のスタートをいつ切るかによって、その日一日が大きく左右されると言っても過言ではないでしょう。ひいてはそのわずかな積み重ねが、長い人生には計り知れないほどの大きな影響を及ぼしてくるものなのです。その意味で、朝に強くなるということは「初心忘れるべからず」ということを、日々繰り返し実行することに結び付いてくると考えられるのではないのでしょうか。初心の継続により、本当に強い人間が形成されてくると思います。

朝に強くなるということは、そんなに難しいことではありませんが、継続して実践することは非常に難しいことです。特に冬の早起きなどは最大の苦痛と言ってもよいでしょう。つらくて、ある日突然初心が途絶えてしまうものなのです。

最近では、情報過多となって、ラジオはもちろんのことテレビも深夜から夜明けにかけてまで、一日中切れることなく放映されております。果たして一日一日の境目が一体どこなのか悩んでしまう状況があります。

しかしながら、天地自然の大法則と言うのは、文化や科学が進んだからと言って変わらない不変なものなのです。

そのところを親をはじめ、すべての人がしっかりと自覚していれば、途中で挫折したりして非行に走る割合も少なくなり、逆にその挫折をバネにすることのできる強い人間に成長して行くのではないかと考えております。

毎年、1月1日の元旦には、特別に早起きをして、いや31日からずっと起きていて、初日の出を拝みに出かけて、その感動を味わおうとする人を、新聞やテレビのニュースで見たり、聞いたりします。ということは、日本人の大半の人達が今、朝日を拝む機会というものをその程度にしか考えていないと示唆しているものと考えられます。いや、現在では初日の出を拝むことさえも、容易ではないのかも知れません。

したがって、朝日を見たことのない子供達は以外にたくさんいるのではないかと予測できます。おそらく、多くの子供達は、テレビの画面を通して知っているだけではないかと思えます。朝、5時、あるいは6時に起きない子は一生、朝日の暖かい陽射しを浴びることはないでしょう。

そういった太陽の暖かい恵みを意識した教育こそ、心身共に健康的な人間を育て、感性をも磨いていくのではないのでしょうか。



はなこみち旅行

今年の夏休み、2泊3日で秩父の長瀬へ旅行に行きました。例年は学年で分けての旅行でしたが、今年は1番上が高校2年生。1番下が幼稚園の年中という幅広い参加児童での旅行になりました。

内容としては、野外炊飯でカレーを作ったり、ラフティングというゴムボートに乗っての川下りをしたりと、子ども達にとってとても良い経験になりました。そしてもっと良い経験になったと感じたのが、幅広い年齢での旅行の中で、みんなで1つの事をしたり、年上の子が年下の子を思いやったりと普段の生活の中ではなかなか見られない姿が見られた事でした。この旅行が子ども達の成長に少しでもつながればと思います。



ソフトボール大会



8月22日に「第13回児童福祉施設親善大会」に参加しました。今回、大会のルール変更に伴いBブロックでの参加をし、昨年と比べてハイレベルな試合が予想されました。そのため、夏休みを中心に練習試合を3試合組み、昨年より実践的な練習を行ってきました。また、今年は新しくユニホームを作ってもらい、初めての参加でした。子どもたちも気合十分で試合に入りましたが、1試合目で残念ながら負けてしまいました。しかし、子ども・職員が一同となって、プレーや応援することができ、練習以上の成果ではなかったのではないかと思います。

大会を終えてからも、ソフトボールに対する熱が冷めていない子どももいます。来年こそは、優勝を目標として頑張りたいと思います。

7月21日に、はなこみち5周年を記念しはなこみちにてお祭りを実施しました。16時半に施設長の挨拶から始まりお祭りが始まりました。

輪投げ・バルーンアート・わたあめ・フランクフルト・かき氷・スマートボール・煮ぼうとう・ポップコーン等自治会と新島短大のボランティアのみなさんにお手伝いしてもらい出店を出すことができました。

出し物では、紙芝居の読み聞かせ、太鼓の演奏、チアダンスの発表とお祭りを盛り上げて頂きました。

地域の子やはなこみちの子で出し物や出店でとても楽しんでいるようでした。けが人もなく安全にお祭りを行うことができました。

はなこみち祭り



他施設合同キャンプ(チャレンジキャンプ)



今年で3度目のチャレンジ合同キャンプ。今年3施設合同で行う事が出来ました。キャンプの掟「よくあそべい・よくたべろい・よくねろい・よくうんこしろい」とあります。みんなこの掟を毎朝大声で言います。ふざけたように感じますが、この言葉は野外で数日過ごすキャンプではとても重要で大切な言葉です。

自分達で寝床を作り、毎食自分達で食事を作り、普段の生活よりも一回りも二回りも大きく見えました。子ども達の秘められた力が自然の中で生活する事により発揮されます。

ユニットから



ぶちトマト(男子小規模)

八須 治 (主幹)

今年の4月から施設内小規模の男子棟として、幼稚園の年長から高校2年生までの8名で生活が始まり、約半年は過ぎました。ユニットの中は元気な声が毎日のように響き渡り、みんなで楽しく生活しています。(時にはケンカなどありますが・・・)

この4月から小学1年生の2名も学校生活にも慣れて、毎日帰ってくると宿題に追われています。時々、宿題が分からず駄々をこねる事がありますが、彼らなりに一生懸命頑張っています。そして、テストで100点をとってくると、嬉しそうに「見て、100点とったよ。」と教えてくれたり、時には、些細なトラブルで職員から注意されたりします。ただ、事故や怪我もなく元気に日々成長しながら生活している子ども8人のユニットです。

かぶら(女子小規模)

井野 妙子 (主任 FSW)

ある時はプリキュアの歌に合わせて踊る姿。ある時は嵐と共に熱唱する姿。ある時はキッチンに立ち、カレーやハンバーグに挑戦している姿。ある時はシール帳を眺めながらにやつく姿。ある時はボタンがきつくなっている事に気付き、「太ったかも・・・」と呟く姿。

どれも女の子だな、と感じさせてくれる姿である。そんな女の子達が生活するユニット。施設内小規模として今年4月、年中・小3・小4が各1名、小5が2名、中3・高2が各1名の計7名が集まった。約半年経った。扉が静かに閉められるようになった。「おはよう」「ただいま」「ありがとう」が気持ち良く飛び交うようになった。宿題の字が丁寧になった。この先どんな成長があるのかな？

そらまめ(男子ユニット)

小森 大輔 (サブリーダー)

そらまめユニットでは、年長さんから高校4年生までの男子が11名が生活しています。高校に進学した子達は、アルバイトや部活動に参加したりと高校生活を楽しんでいる半面、時間が合わない事もありユニット全員が集まる機会が減ってしまった状況もあります。

最近新たに小学生と幼児さんの2人の子が「そらまめ」のメンバーになりました。今まで中高生が中心のユニットだったので、小さい子が加わった事でユニット内の雰囲気が一気に変わってきたように感じます。始めはみんな距離を取り様子を伺っていましたが徐々にお互いを理解し始めた様子が感じます。

下は4歳から19歳と年齢差もあり、子ども同士のもめ事も当然あります。しかし、13人みんなが笑ったり、怒ったり、泣いたり、喧嘩したり...毎日色々な事を体験し少しずつ成長していく、当たり前の事こそがとても大切だと思います。そんな子ども達の日々の成長を見守って行きたいと思っています。

もろこし(女子ユニット)

大谷 靖子 (主任 FSW)

もろこしのリモコンが使用不可能になってから、一か月近くが経ちました。最初は不平不満で大騒ぎでしたが、最近はテレビなしの生活にも慣れ、夕食後、みんなでミサンガを作ったり、パズルをしたりと今までにない時間の過ごし方をするようになりました。時には喧嘩をしたり、悪ふざけをしたりと、騒がしくなることも多々あるけれど、子ども同士の会話や職員と触れあう時間が増えてきたように感じます。元通りになったリモコンを横目に、もう少しこのままでもいいかな...と思ってしまう今日この頃です...

子どもの声

はなこみちで過ごした時間

私が、はなこみちに初めて来たのは、11年生の時でした。不安でいっぱいだった私を支えてくれたのは、いつも職員でした。楽しいことがあると一緒に笑ってくれました。つらい時は、一緒に泣いてくれる職員もいました。そんな毎日かもうすぐ終わりをおかえます。

私は、高校を中退して、自立援助ホームに行くことが決まりました。長いようで短かったこの6年間、本当にお世話になりました。

そして最後まで支えてくれた職員のみならず本当にありがとう。一緒に生活したみんな元気で過ごして下さい。

長い間本当にお世話になりました。

S・H (16歳)

新任職員から

関根 隆幸（副施設長）

4月から、「はなこみち」に副施設長としてお世話になっている関根隆幸と申します。3月までは、県社会福祉事業団で障害者支援施設の行動障害部門の責任者、障害者支援施設（旧身体障害者授産施設）・就労継続支援B型施設の施設長、児童養護施設の寮長などを通算35年間しておりました。児童養護の仕事は10年ぶりです。

先日、10年前に関わっていたある女子児童から会いたいとの連絡がありました。今は、結婚して赤ちゃんが生まれたとのことでした。赤ちゃんを甲斐甲斐しく世話する姿、優しいお母さんになっている姿をみてホッとしました。この仕事を続けていてよかったなと思える瞬間でした。もちろん児童の頃はいろいろ手を焼いた事もありました。職員は一丸となって時間を忘れて関わったことも多々ありました。

私たちの仕事は、無事に高校を卒業させ、施設から送り出したことで終わりではありません。その後の人生をどのように歩むか見据えた関わりが必要だと思います。すぐには結果の出ない仕事ですが一日一日をどう過ごしたか、その積み重ねが結果につながるのではないのでしょうか。

塚越 雅彦（児童指導員）【そらまめ】

昨年度まで群馬県の児童養護施設に12年勤めていました。一度はこの分野での仕事を終えて、別の道を探していくつもりでしたが、縁あって今年度の5月より「はなこみち」に席をおくことになりました。ユニット制久しぶりで、職員の性格がスタイルに出てきますから、自分の持ち味をどこまで生かせる事ができるか楽しみでもあります。

新しく関わる児童の名前を覚えるところから始め、夏を乗り越えようやく自分の中でもユニット児童のそれぞれの課題に対してどう取り組んでいこうか、考えがまとまってきたところです。楽しい中にも、それぞれの“自立”“家庭復帰”に向けた手伝いができれば…と思っています

玉井 静佳（保育士）【ぶちトマト】

はなこみちに就職をして半年が経過しました。私は、今年の3月まで群馬県の児童養護施設で2年間勤務をし埼玉県に来ましたが、施設の勤務体制からルール等の違いで戸惑う事ばかりでした。また、前施設では女子ユニットを担当していた為“ぶちとまと”の男子ユニットでは、異性の子どもに対してどう関わっていけば良いのか本当に悩みました。まだまだ手探り状態でどう接していけば良いのか日々奮闘中ですが、子ども達にとって自分はどんな存在であるべきか、子ども達に何が出来るのかを考え、これからどんどん成長していく子ども達の姿を見守りながら支援していきたいと感じました。

津金沢 幸輝（保育士）【そらまめ】

はなこみちに勤めて、半年が経ちました。私のはなこみちで子どもへの支援をしたいと思ったのは、子ども祭りやバーベキュー、学習のボランティアに参加し、子どもと職員との信頼関係、温かい雰囲気を感じた為です。しかし、働き始めてからは、ボランティアをしていた頃には見えなかった子どもの顔や、職員と子どもとの本気の関わりが見えてきて、一筋縄ではいかない仕事だということも分かりました。これから辛いことや悩むこともあると思いますが、ボランティアの頃感じた信頼関係、雰囲気を目指し、精一杯子どもと関わっていこうと思います。

中村 里苗（保育士）【かぶら】

はなこみちに就職して半年が経ちました。最初の頃は子どもの姿、生活の様子がわからずどのように接していけばいいのか、どのような対応をして良いのかわからず毎日が大変でした。子ども一人ひとりが性格も育ってきた環境も違う為、言葉の掛け方から援助の方法までもが違っていき事をこの5カ月間で改めて実感できました。子どもが成長できていけるような援助ができるそんな職員になれるよう頑張っていきたいと思っています。

行事予定(10月・11月・12月)

【10月】

4日 ケース勉強会
 6日 施設心理士勉強会
 7日 市民体育祭
 10日 リーダー会議
 13日 小学校運動会
 16日 要保護対策協議会
 施設長会議
 メンタルヘルス研修会
 17日 施設内研修
 職員会議
 18日 ケース勉強会
 23日 関東ブロック(1日目)
 24日 関東ブロック(2日目)
 リーダー会議
 25日 施設開放
 27日 中学校授業参観
 交通安全研修
 28日 小学校授業参観
 ハロウィンパーティー
 30日 上越市 児童養護施設
 若竹寮 視察

【11月】

1日 ケース勉強会
 施設開放
 3日 消化避難訓練
 7日 異業種交流会チャリティー
 8日 埼児研
 11日 地域美化活動
 12日 人権研修
 グループホーム研修
 13日 指導者研修
 リーダー会議
 15日 ケース勉強会
 17日 総合防災訓練
 18日 交通安全キャンペーン
 20日 要保護対策協議会
 21日 職員会議
 主任級研修
 27-29日 全養協 熊本大会
 30日 職員採用試験

【12月】

1日 消化避難訓練
 2日 青少年健全育成大会
 5日 施設長会議
 児相長との話し合い
 6日 ケース勉強会
 11日 地域美化活動
 12日 リーダー会議
 13日 埼児研
 18日 要保護対策協議会
 19日 職員会議
 20日 ケース勉強会
 23日 クリスマス会
 25日 しめ縄作り
 26日 リーダー会議
 31日 除夜の鐘

報恩感謝 善意の寄付

(株) オータ 様	チュチュアンナ 様
セカンドハーベスト 様	日本チャリティー支援協会 様
コカ・コーラ 様	シャンメリー 様
深谷カッター 様	埼玉県農林部 様
サンスマイル 様	Dream & Future 様
日本缶詰協会 様	李慶一 様
イケア新三郷 様	埼玉県異業種協議会 様
おもちゃの王国 様	梁瀬生コン 様
(順不同)	

いつも温かいご支援ありがとうございます。

あなたも活動しませんか？

ボランティアサークル 花小路 会員募集

はなこみちを支援するボランティアグループです。

本格的に活動するため、会員を募集しています。

活動内容

- ① 遊びボランティア
- ② 学習支援ボランティア
- ③ お掃除・お洗濯ボランティア
- ④ 短期里親ボランティア
- ⑤ 農園支援ボランティア
- ⑥ その他

～編集後記～

広報係では年4回の発行を毎年目標にしていますが、なかなか目標達成は難しいです。今年度もようやく1回目の発行です。今年度は新副施設長、新任職員4人の合わせて5人がはなこみちに加わりました。同じ職場で働く仲間として、子どもたちと同様、共に成長していきたいと思っております。

(笠原、古河)